

平成28年度 事業計画

仙台空港鉄道は会社発足時から「安全」を経営の最重要課題と位置づけ、社員一人ひとりが安全・安心な列車運行に日々取組んだ結果、開業以来、運転無事故を継続しています。平成28年度の事業の実施にあたっては、引き続き安全を最優先する企業風土の醸成に取組み、お客さまはもとより地域の皆さまにも信頼され、安心してご利用いただける鉄道を目指し、事業を推進します。

1 安全輸送の確保

鉄道事業における最重要課題である「安全」を確保し、開業以来の運転無事故を今後も継続すべく、引き続き設備・車両の適切な保守管理を行うとともに、運転業務に従事する係員の技術・技量の向上、安全管理体制の更なる強化により、安心してご利用いただける鉄道輸送に取り組めます。

- (1) デジタル列車無線システムへの切換え
- (2) S A T 7 2 1 系ホーム映像伝送システム映像受信機、映像モニタ装置の更新
- (3) 仙台空港駅構内伸縮継目更新
- (4) 安全性向上に向けた社員教育・訓練の実施
- (5) 安全点検、安全に関する業務監査等による管理体制の強化

2 サービスの向上

お客さまに快適にご利用いただくため鉄道輸送の安定性を高めるとともに、お客さまの視点に立ったより質の高いサービスを提供します。

- (1) 消費税率改定に伴う駅収入管理システム等の改修
- (2) お客さまに快適にご利用いただくための駅設備の改善
- (3) お客さまのご利用実態等を反映した列車ダイヤの設定
- (4) お客さまのご利用状況に合わせた的確な輸送力の確保
- (5) お客さまが必要とする情報の的確な提供
- (6) 輸送障害時における J R 東日本との連携強化

3 収入確保に向けた施策の展開

当社が所有する施設の有効活用や新たな鉄道グッズの商品化等により、収入の確保に努めます。

- (1) 駅構内等スペースの有効活用の推進
- (2) 新たな鉄道グッズの商品化等によるグッズ販売の拡充

- (3) 駅構内等における広告収入確保に向けた営業活動の展開
- (4) お客さま利用促進に向けた取組みの推進
- (5) 各種イベント等を通じた仙台空港アクセス線の利便性の周知

4 業務遂行体制の改善

より効率的な業務遂行体制を推進するとともに、業務内容の精査、見直し等により経費の節減に努めます。

- (1) プロパー社員の多能化による効率的な業務体制の構築
- (2) 工事工法の見直しによる工事契約業務等の最適化
- (3) 部外へ委託している業務の直轄化の推進
- (4) 事務業務の効率化の推進
- (5) 省エネルギーに向けた取組みの推進

5 人材の育成

社員教育を積極的に推進し、幅広い視野を持った人材を育成することにより、経営環境の変化に対応できる組織を目指します。

- (1) 社員の多能化に向けた教育・養成の推進
- (2) 鉄道固有の技術・技能を修得するための社外研修への参加
- (3) 各種委員会及び勉強会等による社員のレベルアップ
- (4) 鉄道に関する社外通信研修等の奨励

6 地域社会との連携

各種イベント、行事等を通して地域との連携を推進し、地域みなさまに愛され、親しまれる鉄道を目指します。

- (1) 地域に密着したイベント等への参加
- (2) 駅公設掲示板等の活用による地域情報の発信
- (3) 仙台空港鉄道開業10周年記念イベントの実施